

平成18年度 施策評価表

所属 21900000

都市整備部 公園維持課

施策	1238 公園				
区分					
対象	区民				
施策意図	区民ニーズや地域特性を踏まえた公園が整備され、多くの区民が利用している				
現状と課題	区内には平成18年3月31日現在306の公園等が設置され、レクリエーション、環境保全、防災等の機能を果たしている。ヒートアイランド現象等の環境問題への対応や災害時の避難場所の確保のための公園の整備、またこどもの遊びの変化への対応、花や緑との触れ合う機会の確保、安全・安心への対応等の適切な運営・管理が課題である。				
成果指標	1：区民1人あたりの公園面積（公園面積÷人口） 2：公園に満足している区民の割合（マーケティング調査）				
目標達成状況		平成17年度	平成18年度		
	成果指標1 [m ²]	予定	3.76	3.79	
		実績	3.77		
	成果指標2 [%]	予定	46.76	46.80	
		実績	48.20		
	成果指標3 []	予定			
		実績			
	トータルコスト (千円)	予定		2,165,097	
		実績	2,236,148		
	施策の位置付け	区の関与度合	区中心 公園・児童遊園は一人当たり5m ² を整備目標に17年度末で305箇所を開設。今後は、未整備地域の解消のほか、公園の再生、維持管理面での民活や区民協働を高める。		
区民ニーズへの貢献		非常に大きい 本区は、市街地に緑の空間や広場が少ないため、公園の区民ニーズへの貢献度は高い。また、子育てや健康づくり、地域のふれあいの場としても貢献している。			
成果向上の必要性		向上必要 公園は、幼児の遊び場としてだけでなく、地域のレクリエーションや、防災拠点、環境保全、都市景観など様々な機能が期待されており、開設や再生が必要である。			
成果向上の容易性		容易ではない 公園新設には都市計画決定に時間を要するほか、財政上の困難さがある。同時に、公園の50%が25年以上を経過し劣化が進んでおり再生にはコストを伴う。			
位置付け総合評価	継続 行政面積の80%が住宅や工場等の都市的土地利用を占める中、公園はわずか4.7%である。今後も、公園を水と緑豊かな自然空間として計画的に増やし、緑のネットワークを形成して街のイメージや地域の環境問題を改善するなど、色々な役割を担っていくことが重要である。 また、地域住民や企業等多様な主体の参加と協働によって公園を活性化させる活動や、公園デザインの見直し、施設の更新を行い、地域のcommons(共有空間)として育ていくことが重要である。				
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名称		トータルコスト(千円)	総合評価
	123801	公園改良		147,208	5
	123802	公園新設		30,120	5
	123804	公園施設再生事業		89,991	5
	123807	交通公園管理業務委託		65,179	5
	123808	上千葉砂原公園ふれあい動物広場運営業務委託		42,991	5
	123809	新宿交通公園内ミニSL運行		17,646	5
	123810	民間遊び場補助事業		2,114	5
	123811	公園維持課庁舎管理運営		18,651	5
	123812	水産試験場跡地管理(金魚の飼育・展示)		9,120	5
123813	地域自主管理団体等謝礼		7,635	5	

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 21900000

施 策 1238

都市整備部 公園維持課

公園

期 間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		80,000		
		都道府県支出金	(2)		4,250		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		101,293		
		一般財源	(5)		1,674,598		
	直接費	事業費	(6)		1,291,173		
	職員人件費	人件費	(7)		520,497		
		再雇用職員分	(8)		43,200		
		(職員数：賦課)	(9)		61.41		
		(職員数：配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		61.41		
	調整額	間接費	(12)		5,271		
		(加算)減価償却費	(13)		58,039		
		(加算)金利	(14)		194,078		
		(加算)退職給与引当	(15)		52,839		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)			304,956		
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)			2,165,097		
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	123,000			
		都道府県支出金	(21)	46,251			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	203,055			
		一般財源	(24)	1,520,203			
	直接費	事業費	(25)	1,200,651			
	職員人件費	人件費	(26)	633,058			
		再雇用職員分	(27)	58,800			
		(職員数：賦課)	(28)	81.26			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	81.26			
	調整額	間接費	(31)	0			
		(加算)減価償却費	(32)	58,039			
		(加算)金利	(33)	220,566			
		(加算)退職給与引当	(34)	65,034			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	343,639				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	2,236,148				

施策名	公園
-----	----

担当課： 公園維持課

施策の達成状況

【達成度評価】
公園は、区民一人当たり5㎡を目標に整備を進めてきた結果、都立水元公園を含めた面積は、17年度末までに、1,657,011.84㎡、一人当たり3.77㎡に達した。これは前年度比11,881.24㎡、一人当たり0.01㎡の増で、前年度の目標3.76㎡を超えている。また、公園の維持管理については、安心・安全という視点から公園再生事業を実施したほか、日常維持管理面で樹木の剪定方法を工夫するなどして見通しのいい公園づくりに努め、その成果が現れている。

構成事務事業の施策成果貢献度 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果向上の余地	大	公園改良	公園新設	
	中	一般公園維持管理 児童遊園維持管理 交通公園管理業務委託	公園施設再生事業 地域自主管理団体等謝礼 地域開放型花壇管理運営 新宿交通公園内ミニS L運行 上千葉砂原公園ふれあい動物広場運営教務委託 水産試験場跡地管理(金魚の飼育展示)	
	小	公園維持課庁舎管理運営 民間遊び場補助事業		
		小	中	大
施策成果への貢献度				

構成事務事業の次年度方向性 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果の増減方向	向上	公園新設	公園改良 公園施設再生事業	
	維持	一般公園維持管理、児童遊園維持管理 民間遊び場補助事業 水産試験場跡地管理(金魚の飼育・展示) 公園維持課庁舎管理運営 交通公園管理業務委託 上千葉砂原公園ふれあい動物広場運営業務委託 新宿交通公園内ミニS L運行 地域自主管理団体謝礼 地域開放型花壇管理運営		
	減少			
		減少	維持	増加
事務事業のコストの増減				

【次年度方向性の考え方】
区立公園・児童遊園は、50%の施設が開設から25年以上を経過し老朽化が進んでいることから、安全で、区民が安心して利用できるよう施設の維持管理に努めるとともに、老朽化した施設等については計画的に再生事業を進めていくことが必要である。また、公園等の用地確保に努力し、目標である区民一人当たりの公園面積5㎡を目指した整備を進めていく。